

宮城県商工地区中小企業景況調査報告書

2021年1月～3月期

目 次

1. 県下産業全体の景況	2
(1) 主要景況項目のあらまし	2
(2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし	3
(3) 今後の見通しについて	4
2. 県下産業別の景況	5
(1) 製造業の動向	5
(2) 建設業の動向	8
(3) 小売業の動向	11
(4) サービス業の動向	14

2021年4月

宮城県商工会連合会

中小企業景況調査報告書

2021年1月～3月

[調査要領]

1. 調査対象

- (1) 対象地区 宮城県内10商工会地区
(調査対象商工会名) 名取市商工会、大河原町商工会、みやぎ仙台商工会、
利府松島商工会、くろかわ商工会、加美商工会、
遠田商工会、若柳金成商工会、みやぎ北上商工会、
石巻かほく商工会
- (2) 対象企業数 150企業
- (3) 回答企業数 149企業

2. 調査対象期間

2021年1月～3月期を対象として、調査時点は2021年3月1日とした。

3. 調査方法

- (1) 商工会の経営指導員による訪問面接調査。
- (2) 対象企業の抽出は、商工会に於いて、業種・規模等有意選定。

4. 回答企業内訳

業 種	企 業 数
製 造 業	3 2
建 設 業	2 5
小 売 業	4 4
サービス業	4 8
合 計	1 4 9

5. そ の 他

本報告書中のD Iとは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で、各調査項目についての増加(上昇・好転)企業割合と減少(低下・悪化)企業割合の差を示すものである。

1. 県下産業全体の景況

(1) 主要景況項目のあらまし

① 業況D I の状況と来期見通し

県下商工会地区における今期(2021年1月～3月期)の調査において、産業全体(全産業)の業況D I(前年同期との比較D I、以下同じ)は、前期より△2.1ポイントの悪化で△49.7(前期△47.6)となった。産業別にみると、製造業が△43.6(前期△59.4)と15.8ポイント改善、建設業でも△36.0(前期△38.5)と2.5ポイント改善、小売業では△58.2(前期△52.3)と△5.9ポイント悪化、サービス業でも△53.2(前期△40.4)と△12.8ポイントの悪化となった。

来期見通しでは、産業全体(全産業)としては改善の見通しである。産業別では、製造業、小売業、サービス業で改善、建設業で横ばいの見通しである。

表一 業況D I の状況と来期見通し (前年同期比・D I)

業種	前期	今期	来期見通し
全産業	△ 47.6	△ 49.7	△ 34.7
製造業	△ 59.4	△ 43.6	△ 34.4
建設業	△ 38.5	△ 36.0	△ 36.0
小売業	△ 52.3	△ 58.2	△ 39.5
サービス業	△ 40.4	△ 53.2	△ 29.8

② 設備投資の状況と来期計画

新規投資の実施比率は、製造業では12.9%で前期比△9.0ポイント減少、建設業では12.0%で前期比8.2ポイント増加、小売業でも13.6%で前期比2.2ポイント増加、サービス業では12.5%と前期比△12.5ポイントの減少であった。

来期に設備投資を計画している企業は、今期に比べ製造業で増加、建設業、小売業、サービス業で減少となっている。

表二 設備投資の状況と来期計画 (企業割合・%)

業種	前期	今期	来期計画
製造業	21.9	12.9	22.6
建設業	3.8	12.0	8.0
小売業	11.4	13.6	11.4
サービス業	25.0	12.5	8.3

(2) 全国・東北ブロックおよび本県景況のあらまし

① 売上額（完成工事額）

2021年3月調査の日銀短観で、「中小企業の業況判断指数（D I）は前期(2020年12月調査)と比較して、製造業が14ポイント改善のマイナス13、非製造業は1ポイント改善のマイナス11だった。先行きは製造業で今期に比べ若干の改善、非製造業では今期に比べ悪化を見込んでいる」と発表された。

宮城の今期売上額（完成工事額）D Iは、全業種でマイナス値であった。前期との比較では製造業で改善、建設業、小売業、サービス業で悪化となった。

今期の宮城の全国・東北との売上額D I比較では、製造業、サービス業で全国・東北以上、建設業、小売業で全国・東北以下であった。

表－3 売上額（完成工事額）の状況 (前年同期比・D I)

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 54.6	△ 45.6	△ 56.9	△ 50.3	△ 71.8	△ 43.7
建 設 業	△ 24.1	△ 21.7	△ 31.7	△ 22.5	△ 34.6	△ 36.0
小 売 業	△ 50.4	△ 50.2	△ 56.3	△ 54.1	△ 54.6	△ 63.6
サービス業	△ 55.4	△ 61.1	△ 53.8	△ 58.6	△ 50.0	△ 54.2

② 採 算

宮城の今期の採算D Iも、全業種でマイナス値であった。前期との比較では、製造業・建設業で改善、小売業・サービス業で悪化となった。

今期の宮城の全国・東北との採算D I比較では、製造業で全国以下、東北以上、建設業・小売業で全国・東北以下、サービス業では若干全国以上、若干東北以下であった。

表－4 採算の状況 (前年同期比・D I)

区分 業種	全 国		東 北		宮 城	
	前 期	今 期	前 期	今 期	前 期	今 期
製 造 業	△ 46.4	△ 39.4	△ 53.2	△ 51.0	△ 62.4	△ 50.0
建 設 業	△ 24.7	△ 20.9	△ 29.6	△ 25.2	△ 46.2	△ 32.0
小 売 業	△ 43.7	△ 43.5	△ 51.3	△ 49.5	△ 46.4	△ 61.3
サービス業	△ 48.1	△ 52.6	△ 47.8	△ 51.9	△ 36.2	△ 52.1

(3) 今後の見通しについて

① 県下産業全般の主要項目来期見通し

宮城の売上額（完成工事額）来期見通しD I（2021年4月～6月期）では、今期状況D Iとの比較で、製造業で△3.1ポイントの悪化、建設業でも△4.0ポイントの悪化、小売業では22.7ポイントの改善、サービス業でも45.9ポイントの改善の見通しとなった。

採算来期見通しD Iでは、今期状況D Iとの比較で、製造業で6.2ポイントの改善、建設業で横ばい、小売業で13.6ポイントの改善、サービス業でも20.8ポイントの改善見通しとなった。

② 全国と本県企業の来期見通し比較

今期と来期見通しとの比較において、製造業では売上は全国で改善、宮城で悪化、採算では全国で改善、宮城でも改善の見通しとなった。建設業では売上は全国で悪化、宮城でも悪化、採算では全国で悪化、宮城で横ばいの見通しとなった。小売業では売上は全国で改善、宮城でも改善、採算でも全国で改善、宮城でも改善の見通しとなった。サービス業でも、売上は全国で改善、宮城でも改善、採算でも全国・宮城共に改善の見通しとなった。

表－5 売上額（完成工事額）の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製造業	△ 45.6	△ 21.7	△ 43.7	△ 46.8
建設業	△ 21.7	△ 26.4	△ 36.0	△ 40.0
小売業	△ 50.2	△ 36.1	△ 63.6	△ 40.9
サービス業	△ 61.1	△ 28.2	△ 54.2	△ 8.3

表－6 採算の状況と見通し（前年同期比・D I）

区分 業種	全 国		宮 城	
	今期状況	来期見通し	今期状況	来期見通し
製造業	△ 39.4	△ 23.7	△ 50.0	△ 43.8
建設業	△ 20.9	△ 24.6	△ 32.0	△ 32.0
小売業	△ 43.5	△ 35.9	△ 61.3	△ 47.7
サービス業	△ 52.6	△ 32.8	△ 52.1	△ 31.3

2. 県下産業別の景況

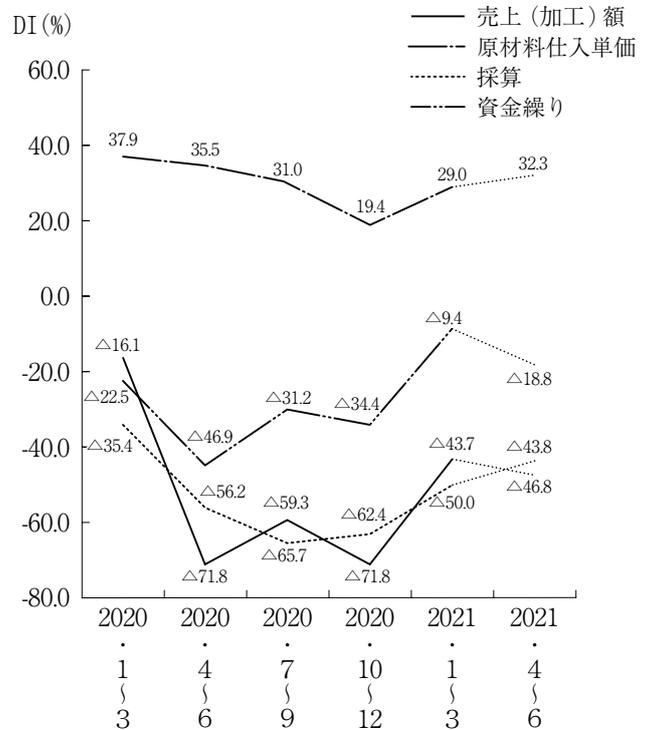
(1) 製造業の動向

① 主要景況項目から見たあらし

前年同期比D Iは、売上（加工）額D Iが今期△43.7（前期△71.8）となり28.1ポイント前期より改善、採算D Iは今期△50.0（前期△62.4）で12.4ポイント改善、資金繰りD Iでも今期△9.4（前期△34.4）で25.0ポイントの改善となった。

原材料仕入単価は今期29.0（前期19.4）と9.6ポイント上昇した。

図1-1 主要景況項目の推移
(前年同期比)



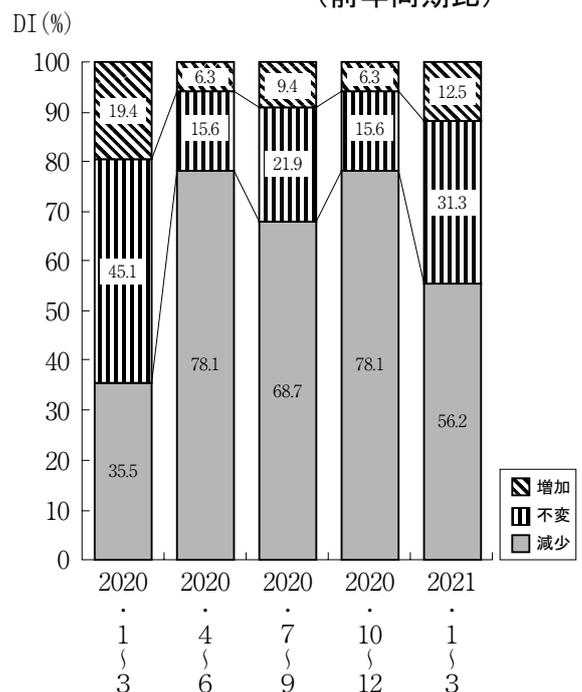
② 主要景況項目別状況

(a) 売上(加工)額

「増加」と回答した企業は、全体の12.5%（前期6.3%）と6.2ポイント増加、「減少」と回答した企業は56.2%（前期78.1%）と△21.9ポイント減少した。

その結果、売上（加工）額D Iは△43.7（前期△71.8）となり前期比28.1ポイント改善した。

図1-2 売上（加工）額の状況
(前年同期比)

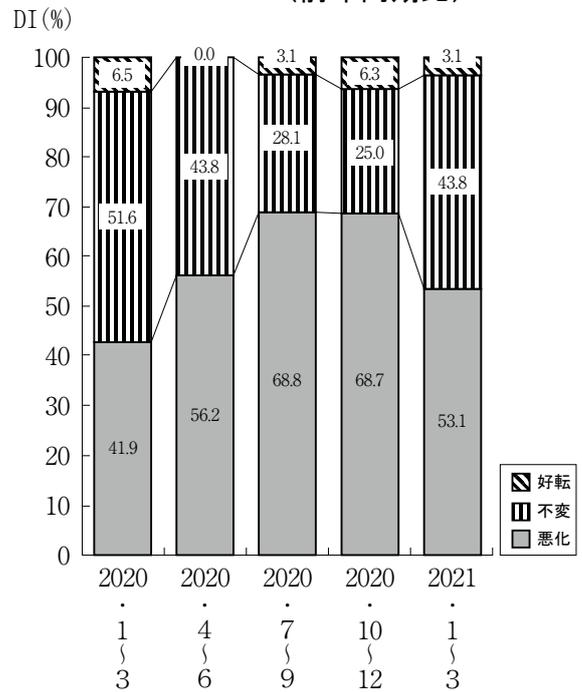


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は全体の 3.1% (前期 6.3%) で△3.2 ポイント減少、「悪化」と回答した企業も 53.1% (前期 68.7%) で△15.6 ポイント減少した。

その結果、採算 D I は△50.0 (前期△62.4) で前期より 12.4 ポイント改善した。

図 1-3 採算の状況
(前年同期比)



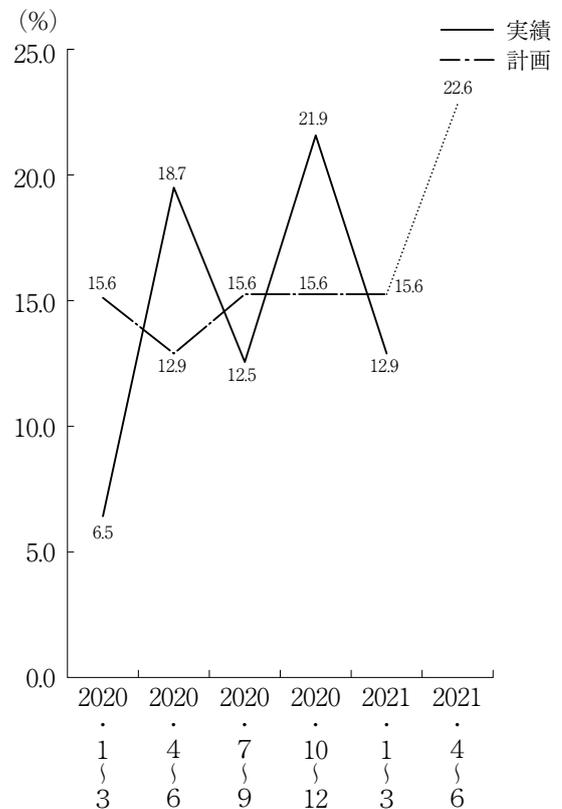
(c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施(実績)企業割合は全体の 12.9% (前期 21.9%) で、前期と比べ△9.0 ポイント減少した。

その設備内容は、生産設備、車両・運搬具、OA機器、その他であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 22.6% で、その設備内容は、生産設備、車両・運搬具、OA機器、その他となっている。

図 1-4 設備投資の状況

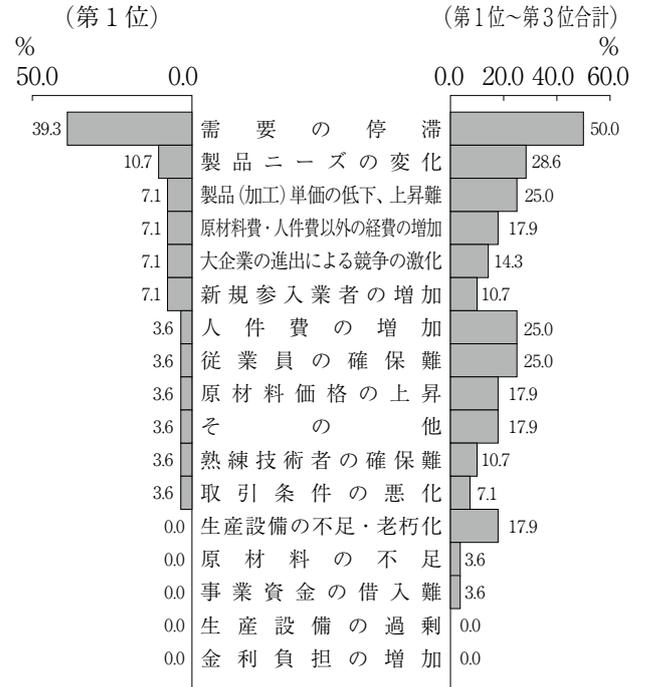


(d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「需要の停滞」で39.3%、次いで「製品ニーズの変化」が10.7%、「製品(加工)単価の低下、上昇難」、「原材料費・人件費以外の経費の増加」、「大企業の進出による競争の激化」、「新規参入業者の増加」が同率7.1%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも「需要の停滞」が50.0%(複数回答合計、以下同じ)で最上位、次いで「製品ニーズの変化」が28.6%、「製品(加工)単価の低下、上昇難」、「人件費の増加」、「従業員の確保難」が同率25.0%で続いた。

図1-5 経営上の問題点



③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期の比較では売上(加工)額DIでは全地域(全区分)で改善した。

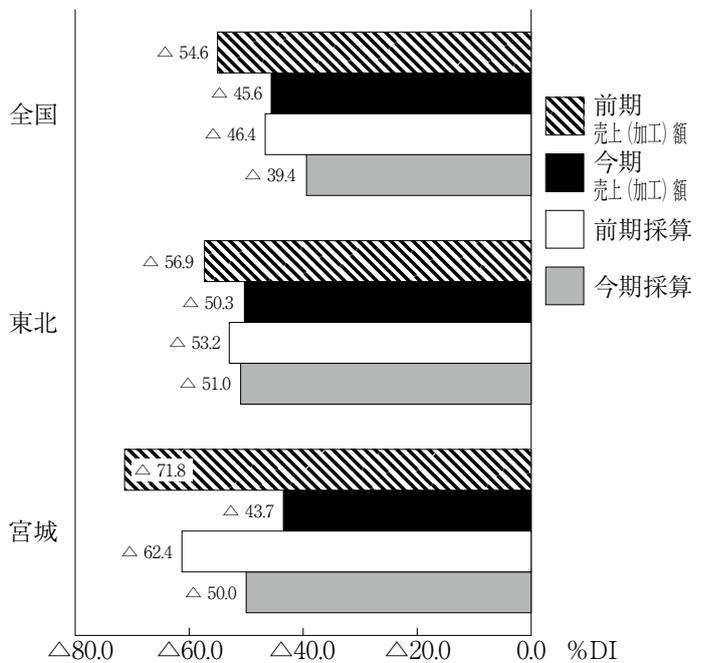
その改善度は、宮城、全国、東北の順であった。

採算DIの比較でも全地域(全区分)で改善した。

その改善度も、宮城、全国、東北の順であった。

本県回答事業者からは「需要の停滞は長期化と予想。市場動向の情報収集、各種支援策の活用等に積極的に取り組む」(金属加工業)や、「コロナ禍のなかの飲食規制で、供給業者への影響も大」(酒類製造業)などのコメントがあった。

図1-6 全国東北宮城売上(加工)額・採算比較(前年同期比)

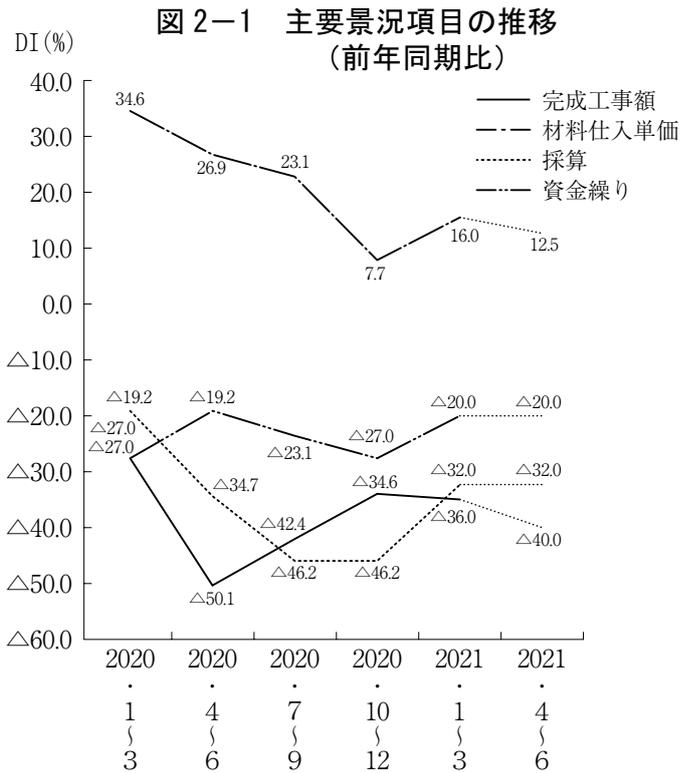


(2) 建設業の動向

① 主要景況項目から見たあらまし

完成工事（請負工事）額D Iは今期△36.0（前期△34.6）と△1.4ポイント悪化、採算D Iは今期△32.0（前期△46.2）で14.2ポイント改善、資金繰りD Iでは今期△20.0（前期△27.0）と7.0ポイント改善した。

材料仕入単価D Iは今期 16.0（前期 7.7）と前期より 8.3ポイント上昇した。



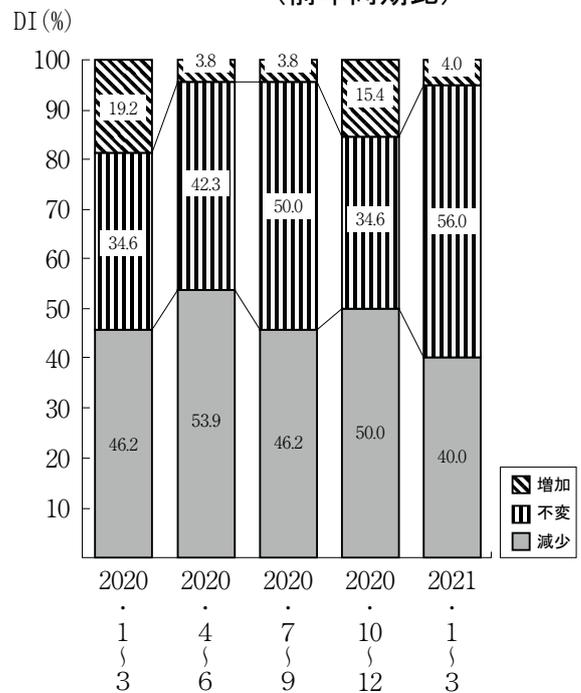
② 主要景況項目別状況

(a) 完成工事（請負工事）額

「増加」と回答した企業は全体の 4.0%（前期 15.4%）で△11.4ポイント減少、「減少」と回答した企業も 40.0%（前期 50.0%）で△10.0ポイント減少した。

その結果、完成工事（請負工事）額D Iは△36.0（前期△34.6）と△1.4ポイント悪化した。

図 2-2 完成工事額の状況
(前年同期比)

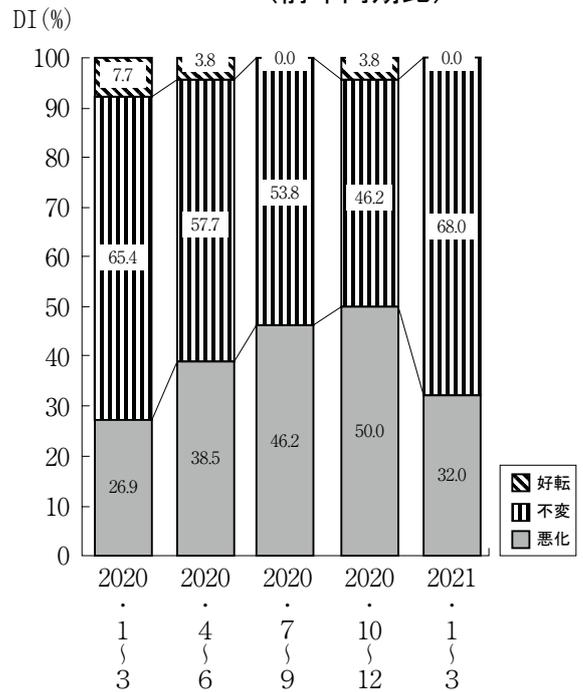


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は全体の 0.0% (前期 3.8%) で△3.8 ポイント減少、「悪化」と回答した企業も全体の 32.0% (前期 50.0%) で△18.0 ポイント減少した。

その結果、採算DIは△32.0 (前期△46.2) と前期より 14.2 ポイント改善した。

図 2-3 採算の状況 (前年同期比)



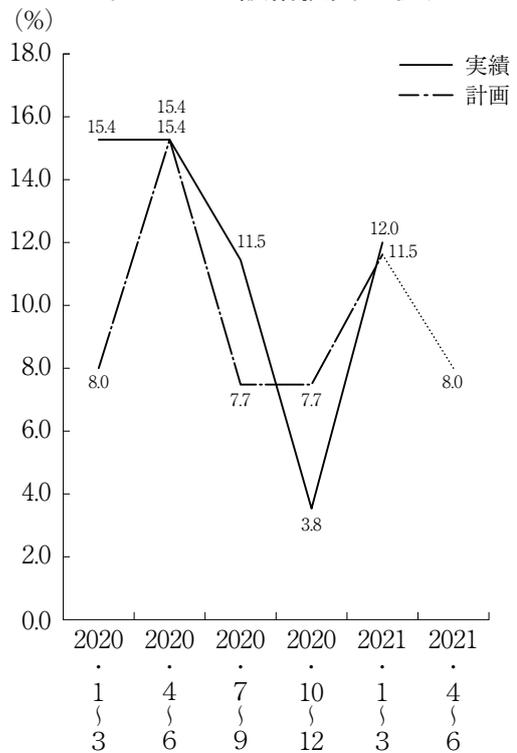
(c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施 (実績) 企業割合は全体の 12.0% (前期 3.8%) で、前期比 8.2 ポイント増加した。

その設備内容は、車両・運搬具、OA機器であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の 8.0%で、その設備内容は、車両・運搬具、付帯施設となっている。

図 2-4 設備投資の状況

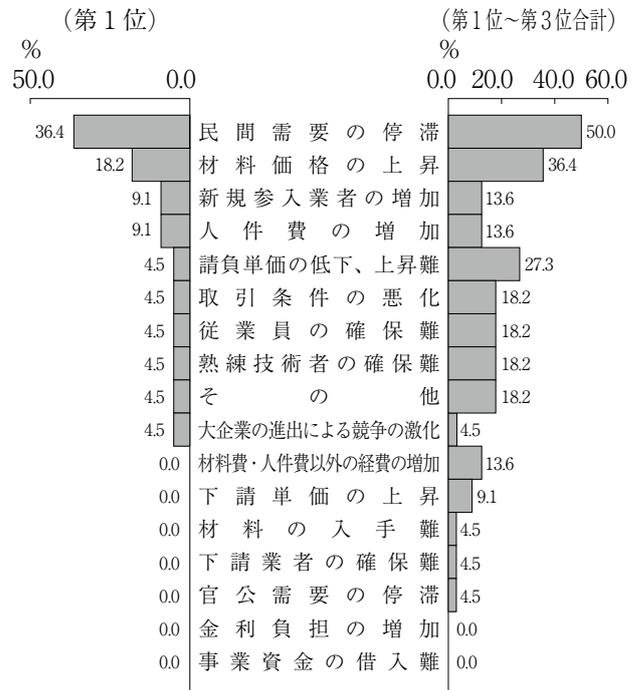


(d) 経営上の問題点

重要度第1位の問題点は「民間需要の停滞」が36.4%で、次いで「材料価格の上昇」が18.2%、「新規参入業者の増加」と「人件費の増加」が同率9.1%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも、「民間需要の停滞」が50.0%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「材料価格の上昇」が36.4%、「請負単価の低下、上昇難」が27.3%で続いた。

図2-5 経営上の問題点



③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期との比較では、完成工事額D I は全国、東北で改善、宮城で悪化した。

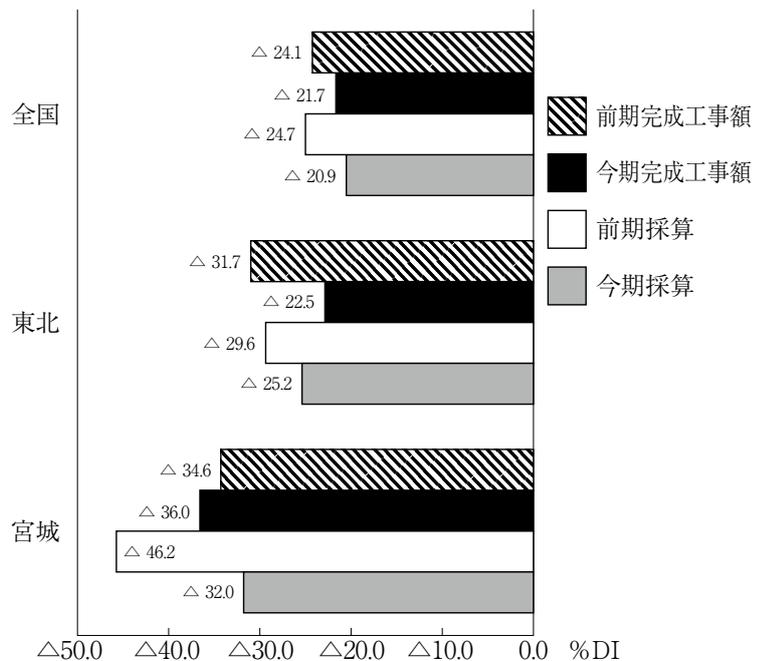
その改善度は東北、全国の順であった。

採算D I の比較では、全地域（全区分）で改善した。

その改善度は、宮城、東北、全国の順であった。

本県回答事業所からは「民間需要が減少」、「現状は需要に大きな変化はないが、コロナの影響で今後の心配」などのコメントが寄せられた。

図2-6 全国東北宮城完成工事額・採算比較（前年同期比）



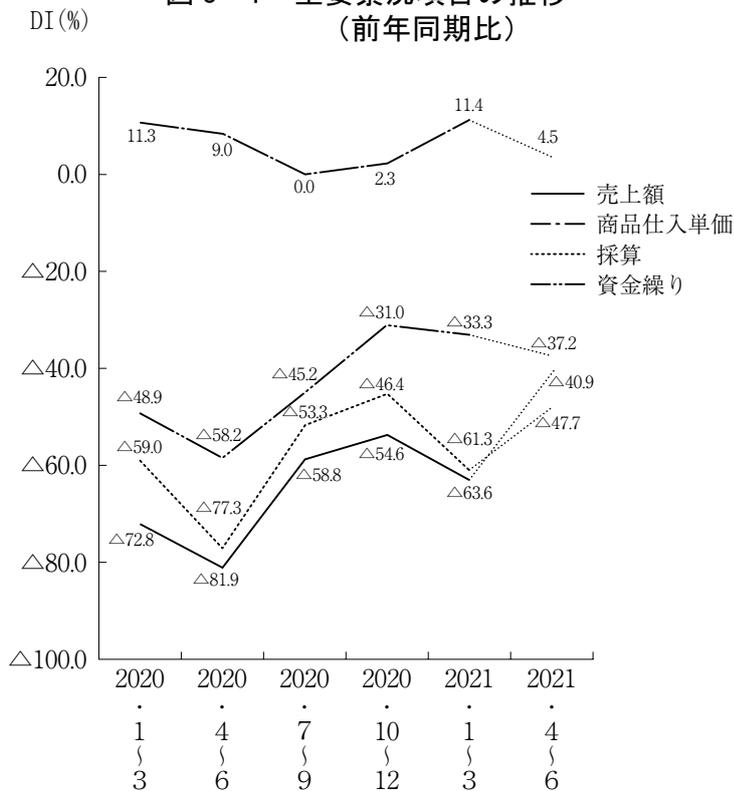
(3) 小売業の動向

① 主要景況項目から見たあらまし

売上額D Iは今期△63.6(前期△54.6)と前期より△9.0ポイント悪化、採算D Iは今期△61.3(前期△46.4)で△14.9ポイント悪化、資金繰りD Iでも今期△33.3(前期△31.0)で△2.3ポイント悪化した。

商品仕入単価D Iは今期 11.4(前期 2.3)となり、9.1ポイント上昇した。

図 3-1 主要景況項目の推移
(前年同期比)



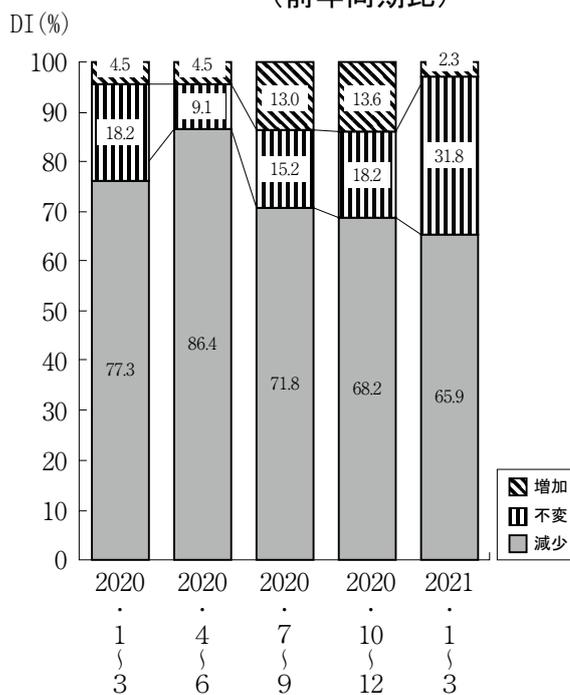
② 主要景況項目別状況

(a) 売上額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の2.3%(前期13.6%)で△11.3ポイント減少、「減少」の回答も、今期は全体の65.9%(前期68.2%)で△2.3ポイント減少した。

その結果、売上額D Iは今期△63.6(前期△54.6)と前期より△9.0ポイント悪化した。

図 3-2 売上額の状況
(前年同期比)

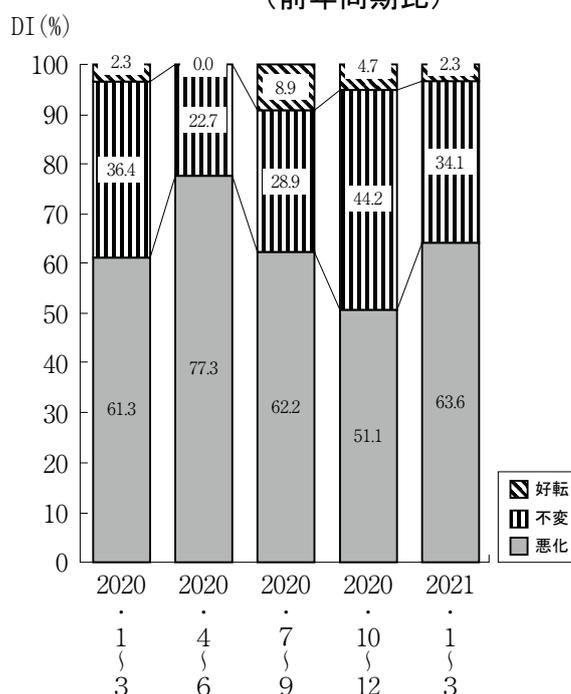


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の2.3%（前期4.7%）と△2.4ポイント減少、「悪化」の回答は、今期は全体の63.6%（前期51.1%）で12.5ポイント増加した。

その結果、採算DIは今期△61.3（前期△46.4）で、前期より△14.9ポイント悪化した。

図3-3 採算の状況
(前年同期比)



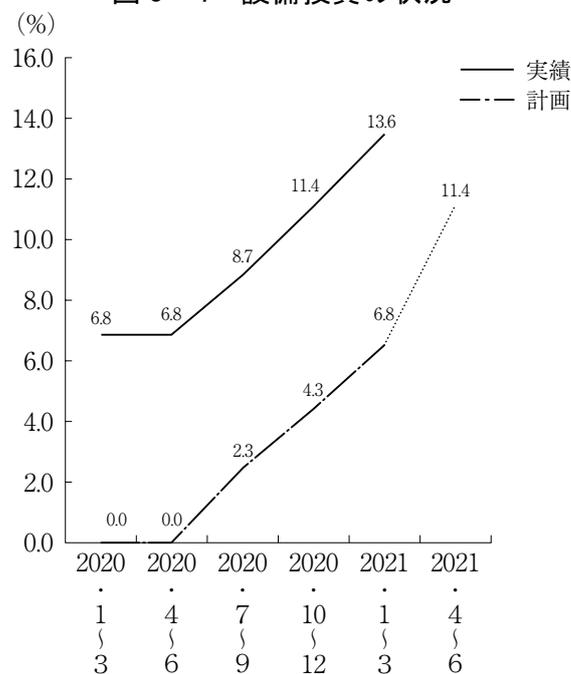
(c) 設 備 投 資

今期の新規投資実施（実績）企業割合は、今期は全体の13.6%（前期11.4%）で、前期比2.2ポイント増加した。

その設備内容は、店舗、販売設備、車両・運搬具、付帯施設、OA機器、福利厚生施設であった。

来期に設備投資を計画している企業は全体の11.4%で、その設備内容は、土地、店舗、車両・運搬具、付帯施設、OA機器となっている。

図3-4 設備投資の状況

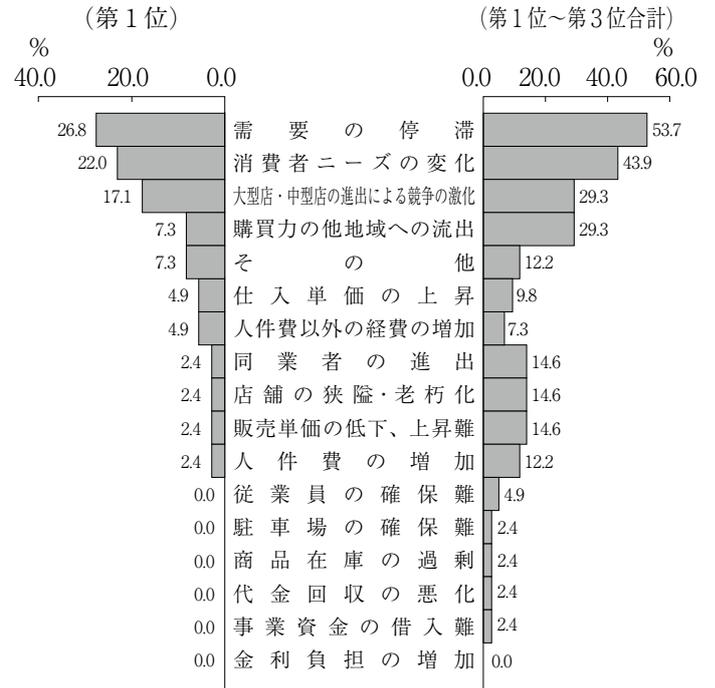


(d) 経営上の問題点

重要度第1位は「需要の停滞」が26.8%で、次いで「消費者ニーズの変化」が22.0%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」が17.1%で続いた。

重要度第1位から第3位合計でも、「需要の停滞」が53.7%(複数回答合計、以下同じ)で最上位、次いで「消費者ニーズの変化」が43.9%、「大型店・中型店の進出による競争の激化」と「購買力の他地域への流出」が同率29.3%で続いた。

図3-5 経営上の問題点



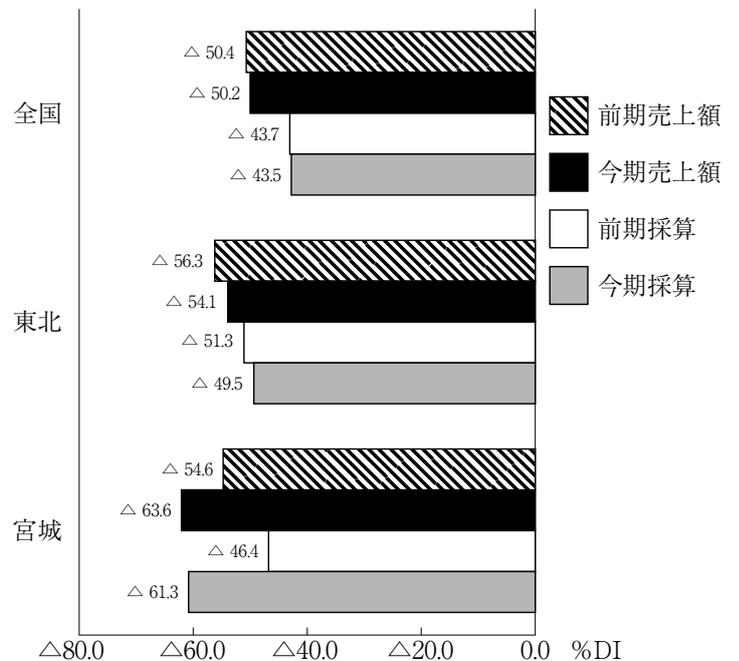
③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

今期と前期の比較では、売上DIは全国で若干の改善、東北で改善、宮城で悪化した。

採算DIでも全国で若干の改善、東北で改善、宮城で悪化した。

本県回答事業所から「コロナ禍で生活スタイルが大きく変化、これにどう対応していくかが重要」(靴販売)や「コロナ禍でも店舗での一般売りでは客数売り上げ共に増加」(青果販売)などのコメントが寄せられた。

図3-6 全国東北宮城売上額・採算比較(前年同期比)



(4) サービス業の動向

① 主要景況項目から見たあらまし

売上（収入）額D Iは今期△54.2（前期△50.0）で△4.2ポイント悪化、採算D Iも今期△52.1（前期△36.2）で△15.9ポイント悪化、資金繰りD Iでも今期△37.8（前期△25.0）で△12.8ポイント悪化した。

利用客数D Iは今期△54.1（前期△47.9）で△6.2ポイント減少した。

② 主要景況項目別状況

(a) 売上（収入）額

「増加」と回答した企業は、今期は全体の8.3%（前期12.5%）で前期より△4.2ポイント減少、「減少」の回答は今期62.5%（前期62.5%）で横ばいであった。

その結果、売上（収入）額D Iは今期△54.2（前期△50.0）で前期より△4.2ポイント悪化した。

図4-1 主要景況項目の推移
(前年同期比)

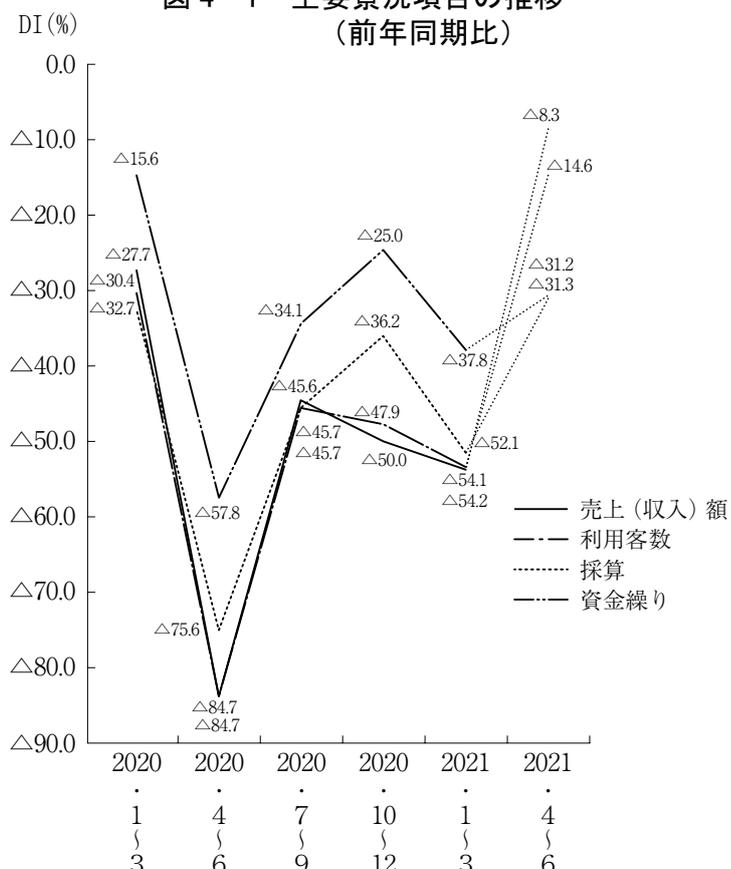
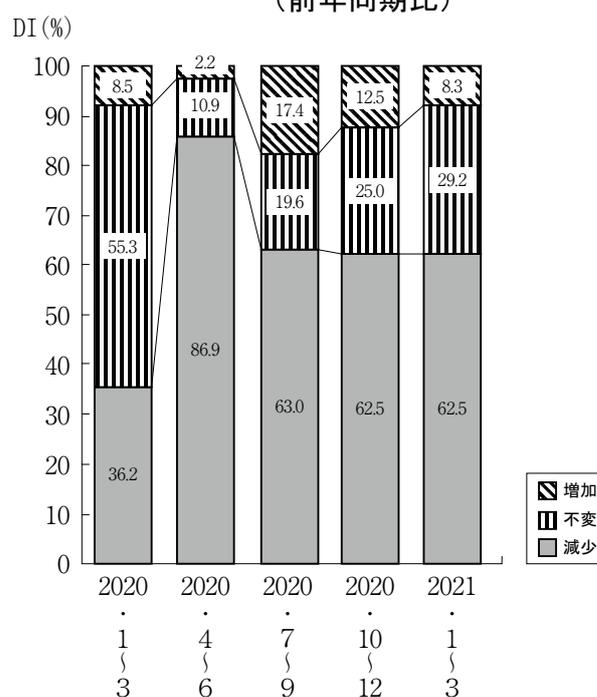


図4-2 売上（収入）額の状況
(前年同期比)

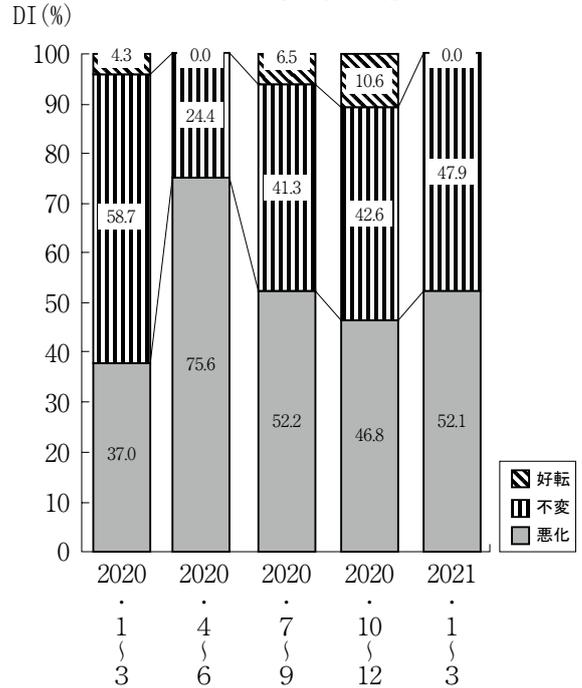


(b) 採 算

「好転」と回答した企業は、今期は全体の0.0%(前期 10.6%)で△10.6ポイント減少、「悪化」と回答した企業は今期 52.1%(前期 46.8%)と 5.3ポイント増加した。

その結果、採算DIは今期△52.1(前期△36.2)で前期より△15.9ポイント悪化した。

**図 4-3 採算の状況
(前年同期比)**



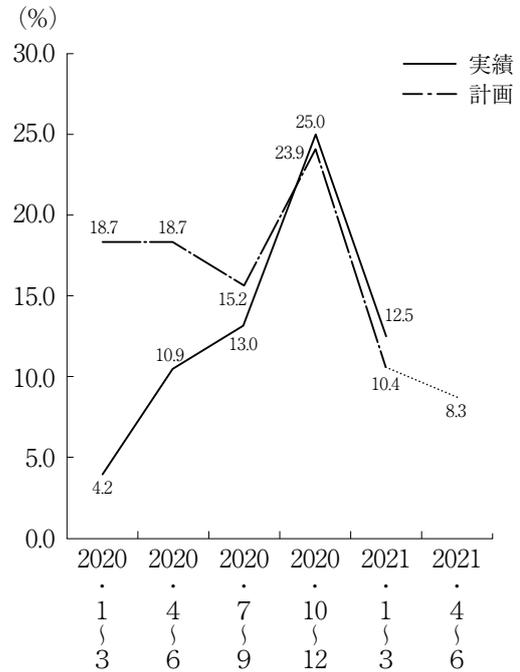
(c) 設 備 投 資

今期新規投資を実施(実績)した企業は全体の12.5%(前期 25.0%)で、前期より△12.5ポイント減少した。

その設備内容は、土地、建物、サービス、車両・運搬具、付帯施設であった。

来期に設備計画している企業割合は全体の8.3%で、その設備内容は、車両・運搬具、付帯施設、その他となっている。

図 4-4 設備投資の状況

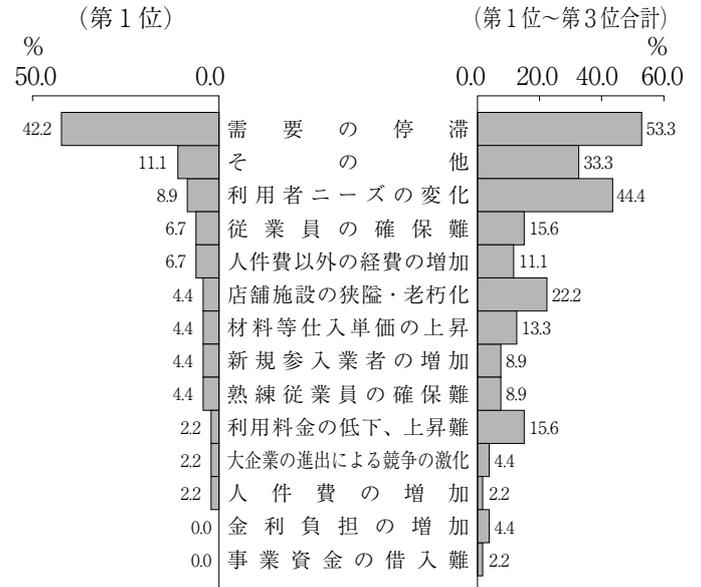


(d) 経営上の問題点

重要度第1位は「需要の停滞」が42.2%で、次いで「その他」が11.1%、「利用者ニーズの変化」が8.9%が続いた。

重要度第1位から第3位合計でも「需要の停滞」が53.3%（複数回答合計、以下同じ）で最上位、次いで「利用者ニーズの変化」が44.4%、「その他」が33.3%が続いた。

図4-5 経営上の問題点



③ 全国・東北ブロックと本県の景況比較

前期と今期の比較において、売上(収入)DIは全地域(全区分)で悪化した。

その悪化度は全国、東北、宮城の順であった。

採算DIでも全地域(全区分)で悪化した。

その悪化度は宮城、全国、東北の順であった。

本県回答事業所からは「GoTo トラベルの恩恵は大であったが、開始、停止時にはかなりの負担であった。1、2年先を考えた施策にも期待」(宿泊業)や「コロナ感染対策で席数を減らし、またランチの提供も自粛せざるを得ない状況」(飲食業)などのコメントが寄せられた。

図4-6 全国東北宮城売上(収入)額・採算比較(前年同期比)

